

# 高齢者・障害者施設の感染対策を考える プラットフォームの構築

滋賀県健康医療福祉部  
健康危機管理課  
医療福祉推進課  
障害福祉課

## 新型コロナウイルス感染症対応において認めた 高齢者・障害者施設の課題

- 施設間の感染対策に係る知識および技術のレベル、マニュアルの内容に相違がある。
  - 職員間の感染対策に係る知識および技術のレベルに相違がある。
  - 自施設内の対策が適切であるか否かわからない。
  - 平時・有事の対策を相談する専門家が確保できない。
- 1. 関係者が一様に知識レベルを向上させるための研修がない。
- 2. 他施設と情報共有する機会がない。
- 3. 施設内の対策を主導的に推進できる人材が少ない。
- 4. 有事に使えるマニュアルがなかった。

# 〈新〉人材育成等を協議するプラットフォームの構築 次年度より運用開始予定

## 課題を新型コロナウイルス感染症対応時の人材育成に係る課題

1. 関係者が一様に知識レベルを向上させるための研修がない。
2. 他施設と情報共有する機会がない。
3. 施設内の対策を主導的に推進できる人材が少ない。
4. マニュアルが有事に使えなかった施設がある。

## 対応策

1. 関係課、保健所および関係団体が人材育成等を協議する「プラットフォーム」を構築
2. 施設内の感染対策を指導できる人材を養成
3. 施設間の情報共有機会を提供
4. 平時・有事の相談体制を構築
5. 専門家からマニュアルへの助言



「プラットフォーム」



感染対策地域支援ネットワーク(Shiga HAI-net)

# 10年後の目指す姿

1. 各施設でリーダーのもとに適切な感染対策が実施されている状態にある。
2. 各施設が感染対策および事例対応をリーダーを中心に検討することができる。
3. 課題を感染症専門家や保健所と連携して地域で解決することができる。

# 感染対策地域支援ネットワーク（Shiga HAI-Net）

## Shiga Healthcare Associated Infection control Network

### 設置目的

1. 高齢者施設および障害者施設において科学的根拠に基づく感染対策の実践を推進する人材を養成すること
2. 県内および地域における関係施設、保健所および専門家等による相互支援を推進すること

### 構成メンバー

1. 県庁関係課（感染対策主管課、高齢者施設主管課、障害者施設主管課）、県内保健所
2. 関連団体
3. 市町
4. 医療機関の専門家

### 活動内容

1. 研修会の実施
2. マニュアル検討
3. 感染制御リーダーのネットワークの構築
5. 集団発生時の技術的支援

# 高齢者・障害者施設の人材養成研修 目的

## (一般研修、感染制御リーダー研修)

### 1. 一般研修の目的

施設における感染対策が科学的根拠に基づいて実施されるために、感染対策の基本を理解した職員を育成する。

### 2. 感染制御リーダーの養成および研修の目的

1. 施設における感染対策が科学的根拠に基づいて実施されるために、感染対策を提案、実践および指導できる人材を養成する。
2. フォローアップ研修により、持続的な研修機会および感染制御リーダー活動の先進事例を共有する。
3. 各施設の相互支援を推進するために、リーダー間の地域ネットワークを構築する。

# 一般研修の対象者

## 一般従事者研修の対象者

1. 高齢者・障害者事業所の職員であること（入所、通所、居宅を問わない）。
2. 事業所責任者が参加を認めること。

# 感染制御リーダー認定研修の募集定員と対象

施設における感染管理の中心的な役割を担う職員を感染制御リーダーと呼ぶ

1. 平時から施設内の感染対策指導を行う。
2. 感染症発生時対応を主導的に行う。
3. マニュアルの整備・見直しに関わる。
4. 保健所等が感染対策に関する連絡をする際の窓口となる。

## 感染制御リーダー認定研修の募集定員と対象

### 定員

1. 大津市保健所および草津保健所管内 保健所管内当たり10施設・20名
  2. 他の保健所管内 保健所管内当たり5施設・10名
- ※各施設から介護リーダーと看護リーダーの2名の参加を想定

### 対象

1. **入所施設（高齢者・障害者施設）**の常勤職員であること。
2. 職員に指示・命令を行うことのできる**指導的立場の職員**であること。
3. 施設の感染対策向上に**意欲**があること。
4. **施設長**が施設における感染対策を指導する者として認め、推薦書提出された職員であること。
5. 所属施設内に感染対策チームがあることもしくは設置予定であること
6. 所属施設にマニュアルがあることもしくは第3回研修までにマニュアルを作成できること
7. 更新のための単位を取得することが可能であること



# 研修プログラム 案

	研修テーマ	講師	参加方法	リーダー研修	一般研修
1日目	感染症総論、感染対策（標準予防策、経路別対策）、疾患各論 サーベイランス、記述疫学 療養環境整備、洗浄・消毒、ゾーニング、 集団発生時対応	外部専門家	集合	○	(○)
			WEB Zoom, Youtube	—	○
2日目	マニュアル作成 指導と相談対応 確認試験（10分程度、6割合格）	外部専門家	集合	○	(○)
			WEB Zoom, Youtube	—	○
3日目	午前 手洗い実習、PPE着脱実習、おむつ交換実習、ゾーニング実地指導、意見交換もしくはラウンドなど 午後 マニュアル検討	地域ICN 保健所	施設内研修	○	—

日本看護協会看護研修学校の教員へ講師を依頼予定

# 感染制御リーダー研修3日目

1. 1, 2日目研修の応用と他の参加者とのコミュニケーションを目的とする。
2. 保健所により講師、研修内容、日程および研修場所を決定する。
3. 午前はラウンド、ゾーニング実地指導、手洗い実習、PPE着脱実習、おむつ交換実習などを実施する。
4. 午後は各施設のマニュアルについて共有、疑問点や課題を、保健所および感染管理認定看護師とともに協議し、マニュアル改善の方針を定める。
5. 研修参加者の連絡先を交換する。



# フォローアップ研修

## 1. 目的

1. 継続的な研修機会の提供により対策の実践を支援する。
2. 感染対策の実践例について情報共有する。

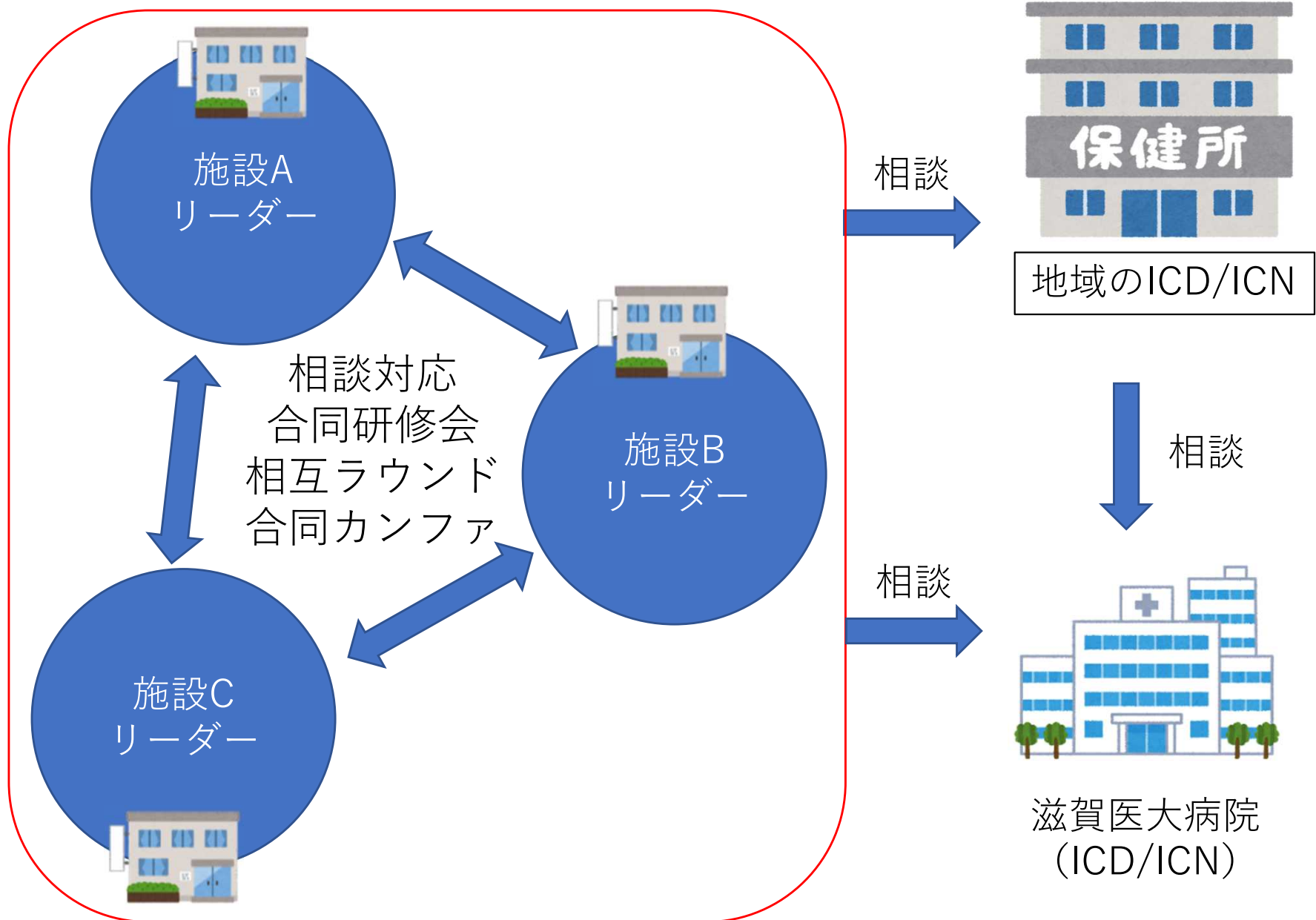
## 2. 対象

感染制御リーダー

## 3. 内容

1. 感染対策の基本および最新情報の確認
2. 県内感染制御リーダーの活動報告
3. 施設内対策の先進事例

# 感染制御リーダーによる地域ネットワークの構築



# 巡回支援

1. 専門家が各施設を訪問し、研修、巡回指導および各種相談対応を行っている。令和3年から行っている事業である。
2. 座学もしくはは集団研修による研修を補うために、施設特異的な技術的助言を行う。
3. 令和6年度以降は、リーダー研修に参加した職員が所属する障害者施設を優先的に訪問する。
4. 年間20施設を上限として対応する。

# リーダー認定制度

## 更新要件；100単位/3年間

- |                     |             |       |
|---------------------|-------------|-------|
| 1. フォローアップ研修        | (必須 1回以上)   | 30 /回 |
| 2. 自施設内研修会等の実施      | (必須 1回以上)   | 10 /回 |
| 3. リーダー活動報告         | (必須 1回以上)   | 5 /回  |
| 4. 他施設との合同カンファレンス   | (記録提出)      | 10 /回 |
| 5. 他施設との相互ラウンド      | (報告書提出)     | 10 /回 |
| 6. 他施設との合同研修会       | (記録・資料提出)   | 10 /回 |
| 7. 任意の感染症対策研修の受講    | (受講証等提出)    | 5 /回  |
| 8. 外部専門家による所内ラウンド   | (記録提出)      | 5 /回  |
| 9. 自施設内ラウンド         | (記録提出)      | 5 /回  |
| 10. 継続的な手指衛生サーベイランス | (1年以上：成績提出) | 10    |

## 感染制御リーダーおよび感染制御リーダーが所属する施設への インセンティブ

1. 県HPに感染制御リーダーが在職する施設のリストを掲示する。
2. 感染制御リーダーの名称表示を認める。
3. 感染制御リーダーおよび感染制御リーダーが在職する施設には、認定ロゴおよび認定証の使用を認める。
4. ケアマネージャーおよびソーシャルワーカー等へ感染制御リーダーが在職する施設を示す。

# 高齢者・障害者施設の人材養成研修の目標 5年間

## 一般研修

各圏域内の20%に該当する施設の  
職員1名以上



全ての施設に受講者

## 感染制御リーダー研修

大津市、草津保健所管内

甲賀、東近江、彦根、長浜、高島保健所管内

合計 20施設・40名/年

合計 25施設・50名/年



225施設・450名



## 集団発生事例の技術的支援

1. 施設の要望等により保健所が対応する。
2. 施設および保健所の要望により、地域ICNもしくはは県クラスター対策チームにより技術的支援を行う。
3. 地域ICNに対する旅費および謝金を支出する。
4. 必要に応じて、高齢者施設主管課および障害者施設主管課も同行する。

# 運営方法 役割分担

1. 県庁関係3課
  1. 関係団体へのリーダー研修の趣旨説明・普及
  2. 協議会の企画・運営
  3. 研修企画・実施
  4. 感染制御リーダー3日目研修の支援
  5. HP運用・広報・報道発表
  6. 集団発生事例等の技術的支援
  7. 巡回支援
2. 保健所
  1. 地域関係団体へのリーダー研修の趣旨説明・普及
  2. 管内施設の研修参加の促進
  3. 研修会参加者の受付と選考
  4. 感染制御リーダー3日目研修の企画・実施
  5. (フォローアップ研修)
  6. 各種相談対応
3. 関係団体・市町
  1. ケアマネージャーやソーシャルワーカーへの広報
  2. 施設の研修参加の促進
4. 感染管理認定看護師
  1. 各種事業企画・助言
  2. 感染制御リーダー3日目研修のファシリテーター

# 令和6年度の予定案

時期	内容
令和6年3-4月	研修会の通知と募集、講師依頼
令和6年5月	第1回感染対策地域支援ネットワーク会議 令和6年度事業の決定
令和6年6-7月	第1回研修会（リーダー研修および一般研修）
令和6年6-7月	第2回研修会（リーダー研修および一般研修） 確認試験
令和6年8月	第3回研修会（リーダー研修）
令和6年10月	フォローアップ研修
令和6年12月	第2回感染対策地域支援ネットワーク会議 各事業結果の共有と評価、次年度計画